

秋の福智町歴史散歩 秋の上野を歩いて学ぶ町の歴史

町の史跡を歩いてたどる「秋の福智町歴史散歩」が11月19日に行われ約20人が参加しました。協奏の庭からの1.5キロの道のりを観光ガイド「ふくち案内人」の解説とともに約1時間かけてゆっくりと散策。目的地の興国寺では住職の講話や無隠元晦禅師座像の特別公開も行われ、町の歴史を深く感じるきっかけとなりました。



↑各史跡の豊富な知識を持つ観光ガイドの解説に参加者は思わず感嘆の声。

↓ライオンズクラブ所属の19人が久富さんの指示を受けながら協力して盛り付け。



心を込めたちらし寿司で被災地支援

九州北部豪雨被災地の朝倉市で、活魚寿司たちばなの久富好幸さんらライオンズクラブがちらし寿司を振る舞いました。生ものが提供できない仮設住宅の条件の中、エリアを代表する久富さんがレシピを考案。会員とともに野菜を盛り付けた創作ちらし250食を提供し、避難所生活を送る被災者を食の力で励ました。

↓県内12、筑豊4か所(11月末時点)のうちの一つに指定。看板を掲示しました。



福智町初の住民拠点サービスステーション 災害の教訓生かし燃料供給の拠点に

宝見物産株式会社金田給油所が、災害時に地域の燃料供給拠点となる「住民拠点SS」として経済産業省から指定されました。停電を想定した訓練を受け、災害時の燃料供給の重要性を再確認した吉田桃平代表。「燃料が無いと緊急車両も動かない。万一の時に貢献できるようにマニュアルを整備します」と話しました。

↓12m先の的を狙って投げられた石の行方に全員が注目。一投ごとに声援と歓声に包まれました。



老人クラブ連合会カローリング大会 狙いすました一投に熱い視線

老人クラブ連合会主催のカローリング大会が11月15日に中央公民館で行われ、28チームが好勝負を演じました。会員の交流と体力向上を目的に企画され、誰でも気軽に楽しめる競技とあって90歳以上も多く参加。白熱した予選の後は観衆の大声援に包まれて決勝が行われ、人見Aとの接戦を制した西古門Aが見事優勝し、賞状を手にとりチームで喜びをわかち合いました。

池永和美さんが剣道7段に昇段 高めた技と心で難関の審査を突破

金田剣友会で会長を務め、指導歴40年の池永和美さん(67)が高い技術と精神力を認められ、剣道7段を取得しました。池永さんは合格率16.7%の厳しい審査に

10年ぶり2度目の挑戦で合格。「これからが7段としての修行の始まり。責任を感じます」と背筋を伸ばしました。今後も自ら先頭に立って研さんを重ね、後進の育成に努めます。



←道場に掲げた「平常心」を胸に審査に挑み、筑豊では最高段位の7段保有者に名を連ねた池永さん。

上野の里15周年祭 節目の年に利用者へ恩返しした感謝祭

利用者への感謝を込めた「上野の里15周年祭」が11月19日に行われました。ふれあい市では特産品が割引価格で販売され、購入者には上野焼や新米が当たる抽選会も実施。イモ掘り体験や陶芸教室のほか、10周年の際にはなかった特設ステージでのバンドや和太鼓演奏など、充実した催しで節目の年を盛り上げました。



↑寒気強まる中、無料で振る舞われた温かいおにぎりと豚汁に来場者が舌鼓。

↓職員中心で組織された伝統芸能保存会が入所者とともに迫力の神楽を披露。



第12回豊徳祭 人の輪広げる豊徳会の大イベント

12回目を数える社会福祉法人豊徳会主催の「豊徳祭」が11月18日に方城体育館で行われました。会場には地域の飲食店やボランティア、職員による出店が並び、雨天にもかかわらず約千人が訪れ終始大盛況。豊富なステージも披露され、施設利用者と来場者が一体となって地域の一大イベントを楽しみ、親睦を深めました。